

東京家政学院高等学校 同窓会報



あづまだより

2025年4月号

発行所

東京家政学院高等学校 あづま会

〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地

電話 / Fax 03(3288)2623

https://www.kasei-gakuin.ed.jp/graduate/ob_aduma.html

Eメール adumakai@kasei-gakuin.ac.jp

発行人 澤田 三和子

会員の皆様へ



あづま会会長
澤田 三和子

ごきげんよう
皆様いかがお過ごしでしょうか。
今年は巳年、蛇は脱皮しながら大きく成長することから、新しいことの始まりを象徴するともいわれています。

今年度は、バドミントン部、高校文芸部の俳句甲子園出場、ESDの世界大会出場と、それぞれ嬉しいご活躍のお知らせをいただき、とても嬉しかったです。あづま会からも応援させていただきました。

また、中学1年生の皆様が7月の暑い日に、大江スミ先生のお墓参りをしてくださいました。

私は、春の創立記念日のときのお墓参り以来でしたが、あづま会役員も共にお花をお供えました。お墓参りすることが初めての生徒さんもらして、丁寧にお参りくださいました。

嬉しいことが続き中学校・高等学校の創立85周年に相応しい年になりました。

おかげ様で、「東京家政学院創立100周年」「中学校・高等学校創立85周年」「あづま会設立80周年」が無事に終わりほっといたしております。

総会、懇親会は、令和7年5月25日です。皆様にお目にかかれることを楽しみにしております。

『あづま会より』

この度、あづま会会長澤田三和子（昭和41年卒）が退任の運びとなりました。
14年間の永きにわたり、あづま会発展のためご尽力頂きありがとうございます。
心より感謝申し上げます。

2025年あづま会総会・懇親会のご案内

東京家政学院のある九段界隈は桜の名所であり、今年も淡いピンクに染まりました。
ごきげんよう

あづま会総会・懇親会を2025年5月25日（日）1号館4階の大江スミ記念ロースホールにて開催いたします。お忙しいことは存じますが、卒業生の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

総会では、12年間据え置かれていました会費値上げを提案いたします。支出の中で『あづまだより』の制作と発送費が大きな割合を占めており、昨年10月の郵便料金値上げが影響しております。ご審議よろしくお願い申し上げます。

懇親会では、毎年恒例になりましたくじ引きをお楽しみください。景品は、13・14ページ协会会员証が使える加盟店のさかぐち（あられ、お煎餅）・宝来屋（和菓子）・増辰海苔店の紹介を兼ねて各お店の品を用意します。あづま会グッズも提供します。

終了後に先生方のご案内で校内見学を予定しています。在校生の皆さんがどのような環境で学んでいるのか、ご自身の時代を思い出しながらの見学も楽しいと思います。

同時開催の、卒業後50年、40年、30年のジョイント同期会の開催にあたって、昨年末より名簿整理や総会と同期会への参加呼び掛け、また当日の受付等のお手伝いをして頂く幹事の皆様には、ご多忙のところ多大なご協力を頂いております。誌面をお借りしてお礼申し上げます。これを機に懐かしい友と再会し交流が深まる事を願います。ジョイント同期会以外の学年の方も大歓迎です。時代を越えてたくさんの方々のご参加を楽しみにしております。参加申込みは、同封の郵便局払込取扱票にて振込みをお願いいたします。

なお、判明した名簿についてはあづま会にご提供頂く事をご了承ください。

日時：2025年5月25日（日）

受付 10時半より

総会 11時より

懇親会 12時～14時

会場：千代田区三番町22番地
東京家政学院1号館4階
大江スミ記念ロースホール

総会議事：・2024年度会務、会計報告
・2024年度会計監査報告
・2025年度会務案、会計予算案
・役員改正
・あづま会終身会費について
・その他

懇親会費：4,000円

5月10日（土）までに払込取扱票で郵便局にてお振込み下さい。

ご入金を持って懇親会のご出席とさせていただきます

当日参加は、ご遠慮ください。

また、お振込み後の返金は致しかねます。

懇親会終了後に校内見学を予定しております。（20分程度）

2025年同期会幹事の方々

高校卒業年	幹事氏名	敬称略（）内は旧姓
昭和50年卒	保戸田和江	榎本純子（星）
	松下よし子（関）	遠藤祐子（後藤）
	野地えり子（会沢）	森上和子（古川）
平成7年卒	飯野まゆみ（小松）	片山瞳
	下地麻貴	

校長先生ご挨拶

東京家政学院中学校・高等学校

校長 佐野 金吾



あづま会の皆さん、ごきげんよう。今年も生徒の皆さんは元気に学校生活を楽しんでます。中学・高等学校の教育活動は文部科学省が定める学習指導要領に示されている目標・内容等に基づいて行われています。現行の学習指導要領は平成29年(中)・平成30年(高)に告示されたものです。この学習指導要領は新たに制定された教育基本法、改正学校教育法等を踏まえたもので「社会に開かれた教育課程」とすることを重視し、知識および技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成をバランス良く育むことを目指しています。特に「社会に開かれた教育課程」については今回の改訂で初めて示されたもので、これからの学校教育の在り方に深く関わる考え方として重要です。生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により社会構造や雇用環境は大きく、急激に変化しています。こうした社会環境の中での学校教育の在り方としては、これまで通り学校の工夫だけではなく、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら

理事長ご挨拶

学校法人東京家政学院

理事長 吉武 博通



『KVA精神を未来にどうつなぐか』

高等学校・中学校の入学数も改善傾向にあり、「持続可能な社会の創り手」の育成に資する教育を実践する学校に贈られるESD大賞において文部科学大臣賞を受賞して以来、俳句甲子園への出場と最優秀賞・優秀賞の受賞、政策甲子園における優秀賞の受賞、インターハイへの出場など、生徒たちの快挙が続いています。体育祭で3年生が舞う荒城の月で胸を熱くし、文化祭での生徒たちの笑顔、校庭から聞こえてくる元気な声に、本校の素晴らしさ、教育の大切さを心から感じます。

他方で、国内外の出来事に目を向けると、地球温暖化が自然界や社会に深刻な影響を及ぼし始め、世界情勢も不安定さを増しつつあります。国内では自然災害が頻発、少子化も加速し、社会や地域の持続可能性をどう確保するか難しい問題の解決を迫られています。

このような時代だからこそ、これまでも増して「教育」が大切なのではないのでしょうか。学校教育の最大の目的は「より良く生きる」ための土台づくりです。より

ら取り組むことが求められています。このたびの学習指導要領の改訂によって中・高の教育課程には教室での学びに拘らない探究の時間が設けられています。本校では、この時間を大いに活用し、生徒自ら考えた課題に対応して必要に応じて学校内外の教育機能を活用した活動が行われています。具体的には、中学1・2年の「心と学びをTsunaguプロジェクト」ポスタビ」、中3は「SDGsクリエイティブプロジェクト」、高1は「SDGsエキスパート探究」、高2「SDGsジグソー探究」などの活動です。こうした教育活動は関係機関から高く評価され、令和4年度のESD大賞として文部科学大臣賞を受賞しました。なお、作年度は世界30カ国以上の国・地域が参加した「Design for Change 世界大会」に秋山優花さんと加藤美花さんが日本の中学生の代表として参加し、この学習の成果を報告してきました。又、高校生も高校の全国大会である二つの甲子園、全国高等学校俳句選手権大会、全国高校生政策甲子園において何れも大賞をいただくなどの大活躍をしています。多くの方々からのご協力を得ながら東京家政学院中学・高等学校は元気に充実した日々を重ねています。

良く生きるとは人と比べることではありません。自分にとって何がより良い生き方かを問い、少しずつでも成長し続ける。学校ではその基礎を培ってほしいと願っています。その基礎をなすものこそ大江スミが掲げたKVA(知識・徳性・技術)ではないかと改めて感じています。

インターネットの普及で誰もが容易に情報を得られるようになりましたが、「知識」は知ることと理解することの2つの要素を含むとされています。物事を一面ではなく多面的に捉え、筋道立てて考えることがこれまでに求められています。知識を暮らしや社会に役立てるための方法や手段が「技術」です。創意工夫や手を動かして何かをつくりあげることは知識を得ることと同様に重要です。そして、私たちは社会において組織において家庭において、他者を感じ、協働しながら生きていかなければなりません。その時に大切なのが信頼であり、それは「徳性」をもつて初めて得ることができると思っています。

学校も大学も大きな荒波の中にあり、これまでと同じことをやっていてはとも生き残ることなどできません。ただ、どのように形が変わろうともKVA精神は未来に引き継ぐべき根本理念であり、私たちにはそれを次に繋ぐ使命があります。そのことを深く心に刻みながら、あづま会の皆さまとともに前に進んでいきたいと思っています。

中学校・高等学校創立 85 周年記念式典

去る2024年11月30日(土) 大江スミ記念ローズホールにて創立85周年記念式典が挙行政され、あづま会役員も出席いたしました。

校歌合唱に続き佐野金吾校長先生より、教育の真髄を表しているKVA精神に基づき、人と人との関わりを大切に「徳・virtue」を重視する教育、学校教育制度の変化に沿って伝統を活かした教育、教科を学ぶだけではなく一人一人が自分の力として活かし、運命を拓く教育が家政学院の教育理念です。「天命を知り運命を拓く」という式辞がありました。

次に吉武博通理事長より、1939(昭和14)年大江先生は、より若い年代から理想の教育を追究したいとの思いで、私財を投じて東京家政学院高等学校を開校しました。入学希望者は500名を越えたそうですが、2クラス12名でのスタートでした。

近年志願者は減少していましたが、最近では改善傾向にあり、生徒の皆さんの校内外での活躍も目覚ましいものがあります。大江先生の精神はしつかり今に引き継がれていると感じています。この歴史と伝統に誇りを持ち、好奇心を原動力としてより良く生きる力を養ってください。という祝辞を頂きました。

続いて澤田三和子あづま会会長からは、最近の生徒さん方の活躍には目を見張るものがあり、校門正面の垂れ幕で知ることができます。同窓会としても誇らしくまた大変嬉しく思い、応援しております。

7月1日には中学一年生が授業の一環として、大江先生のお墓参りをいたしました。その折には、あづま会より大江先生のお話をさせていただき、青山墓地までご案内いたしました。一人一人が墓前に手を合わせ、伝統ある学校の授業風景と感心いたしました。

祝辞に続き田宮知子あづま会副会長による、写真を投影しながらのスミ先生の生い立ち、教育者となる経緯、イギリス留学を経て家政学を樹立するまでと信仰に裏打ちされた人となり等の講話に出席者一同聞き入りました。

そして最後に、生徒代表島瑞穂高校生徒会長からのメッセージは、コロナ禍で制約の多い学校生活でしたが、85年の歴史と伝統のある家政学院のアットホームな雰囲気の中で、皆が楽しみ、一人一人が輝き活躍できる教育に感謝します。という謝辞で結ばれ、厳粛な中にも和やかで温かい式典となりました。

5年刻みに創立記念行事を祝うことで、中学、高等学校の6年間在学する生徒にとって一度は経験することになります。学校の歴史や伝統、建学の精神、創立者大江スミ先生を再認識するとともに良い機会になり、式典に参列する事で、強く印象に残ります。PTA、あづま会より祝賀の記念品もあり、思い出深い式典となりました。



おめでとうございます

2024(令和6)年度

文化功労者に出選されました

金子 正子様



金子正子様は、1963(昭和38)年3月東京家政学院高等学校、1967年東京家政学院大学をご卒業されました。

1980年より日本水泳連盟シンクロ強化部長、1984年にはオリンピックやワールドカップなど数々の世界大会の監督やヘッドコーチを務められ、日本を代表するシンクロナイズドスイミング(現アーティスティックスイミング)小谷実可子さん・田中ウルヴェ京さんはじめ多くのメダリストを育成されました。ご功績はロサンゼルス五輪から7大会連続計12個のメダルを獲得し1997年には日本水泳連盟初の女性理事、シンクロ委員長に就任され現在は日本水泳連盟監事や顧問などを歴任しています。2017年に国際オリンピック委員会コーチ特別賞を受賞され、ご活躍は水泳界のみならず日本のスポーツ界に於いても多大な貢献をされています。

文化功労者の顕彰をあづま会と光塩会の両同窓会の皆様とともに心からお慶び申し上げます。

卒業生のページ

『二十歳を祝う会』

令和5年卒 貝島有紗

1月13日午後「二十歳を祝う会」を行いました。当日は先生方、あづま会様、PTA様にお祝いをいただき、ありがとうございました。

三十名ほどの出席でしたが、久しぶりに会う友人と楽しい時間を過ごすことができ、まるで高校時代に戻ったかのようでした。

秋ごろから各クラスの委員が集まり、準備を始め、先生方、あづま会の方、PTAの方とともにどのように会を進めていくか、話し合われてきました。

参加者に少しでも楽しい時間を過ごしてもらいたいというのと、欠席者にも何かをしたいという声が上がったため、欠席の人に記念品を送りました。

当日は、ビンゴ大会を行い、「いま自分がもらってうれしいもの」を景品にし、参加者にも喜んでいただきました。

ご出席いただいた皆様、開催にあたりお手伝いいただいた皆様、支えてくれた家族に改めて御礼申し上げます。



『渡辺かおり先生を偲ぶ会』

ソングリーダー部コーチ 神邊恭子

2024年3月31日、初期のソングリーダー部副顧問として支えてくださった渡辺かおり先生の一周忌に、ソングリーダー部の初代から9代目のOGが主催しローズホールにて偲ぶ会をさせていただきました。

渡辺先生は昨年の2023年3月30日に急逝されその年の5月14日に、ローズホールにてお別れ会が行われましたが、会に参加できなかったOGも多く、お世話になった渡辺先生のご冥福をお祈りし、哀悼の意を表するため企画されました。

私がコーチとして携わせていただいていたソングリーダー部ではありますが、OG達の手際の良さ、細やかな配慮に温もりを感じ、誇らしささえ感じる事ができ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

今回は偲ぶ会実行委員を4名にお願いし準備してもらう中で、在りし日の渡辺先生を思い出しながら、祭壇のお花を選んでくれ、当時の写真を集めたもので動画を作成してくれ、参加者の管理や会の進行についても全てにおいて、渡辺先生への感謝と愛を感じることができました。

当日は渡辺先生のご主人に遺影をお持ちいただきお別れ会で流してくださった動画をご準備いただきました。ご厚意でご結婚された頃のお写真やプライベート写真もお持ちくださり、OG達のご主人から自分達に見せない渡辺先生のお話を聞かせていただきとても新鮮で有難い機会となったようです。

ご主人のお言葉の中に、「かおり先生は湿っぽくならず、明るい会にして欲しいと思うから、この偲ぶ会はかおり先生を冠につけたみんなが盛り上がる機会にしてくれたら喜ぶ。」と仰ってください。OG達も定期的にOG会を開催して渡辺先生の思い出話をする事が供養にな

ると感じたようでした。

渡辺先生が副顧問だった頃は、ピンクのタイストスカートを着こなし、颯爽と校内を歩く姿が印象的で、部員にも私にもとても優しく常に温かく見守ってくださいました。副顧問を引き継がれた後でも、学校内ですれ違う際や大会前には声をかけてくださって、「ソングどう？頑張ってる？」と気にかけてくださり、今なお学校で会えるのではないかと錯覚してしまうほどです。しかし、もうあの明るいお声を聞くことができないと思うと悲しくなりません。

こうして一周忌にOG達の心のこもった素敵なお花を遺影の周りにドレスのように飾ることができ、私達がお伝えしたい感謝の気持ちが届いたと感じられる晴れ女の渡辺先生らしい真夏日でした。

国語科の渡辺先生にお叱りを受けそうな拙い文章となりましたが、あらためてご冥福をお祈りいたします。

最後になりましたが、今回の準備に際し本校卒業生でもあり、ソングリーダー部4代目と同期の支援室曾山さんにご尽力いただき厚く御礼申し上げます。合掌



あづま会は負けない

昭和48年卒 田中 文子(旧吉田)



今は役員ではありませんが、かつて役員をしていた縁で付かず離れずあづま会を見てきた私の雑感です。

令和6年5月の総会。会場のローズホールへ向かって歩いていくと、女子校特有の賑やかな声が聞こえてくる。中に入ると大勢の人がいた。その光景を見て心が震えた。そしてふと2年前の総会を思い出した。

2年前。数年にわたるコロナ禍のため総会を開くことができなかった。そして明けて初めての総会。会場はローズホールではなく会議室だった。参加者が少ないのかしら?と思った。案の定参加者より役員の方が多い。そして役員達は下を向いて元気がなかった。たんたんと議事は進行していく。私はたまらなくなつた。この数年、彼女たち役員は何もしなかったわけではない。いつも通りのことをやろうとして定例会を開いていた。でも、でも!コロナの前になすすべがなかったのだ!総会だけではない。『二十歳を祝う会』も『文化祭』も・・・それなのに、それでも何かできることを考えた。『あづまだより』を発行し続けた。休むことなく。記事にできることがない時は卒業生をたよったり、学院の歴史を拾い、とにかく紙面を埋めた。投げ出したくなつただろう。もう嫌だと心が折れそうになつただろう。定例会を開いて何になるのだと何度も思ったことだろう。でも彼女たちは続けた。負けなかった。ふんばって堂々と勝つたのだ!役員でない私は寄付という形で応援した。そして今年。コロナ後2回目の総会。なんとということだろう!廊下まで響き渡る女子校特有の声、声、声!73名の参加者。いやいやここで止まらない。来年はもっと!私はきつと来年も、宝来屋さんの校章印の入った紅白饅頭を楽しみに参加するだろう。



#宝来屋さんの紅白饅頭は70才以上の方に配られます。

『第3回 KVA 56同窓会』

昭和56年卒 三輪 正恵(旧池上)

私たちKVA 56(S 56卒)は、3回目の同窓会を昨年6月、アルカディア市ヶ谷にて、先生方含め総勢50名で開催いたしました。

当日濱島先生は札幌から、伴先生は仙台から、そして池部先生、丸山先生、吉田先生、小泉先生と、6名もの先生方が私たちの為に駆け付けて下さいました。

先生方、旧友との懐かしい再会は、私たちを一瞬にタイムスリップさせて、みんな18才の少女に大変身です(笑) 先生方の今尚精力的な近況報告に「もう60代ではなく、まだ60代」と自身の姿勢を正して頂きました。サプライズは、司会者の呼び掛けで始まったあの中国の歴代王朝「殷・周・秦・漢」の大合唱。伴先生は大変驚かれましたが私たちも中2で覚えた王朝を、還暦過ぎてもみんなが暗唱出来てびっくりしました。

最後はクライマックスの校歌合唱。私の孫がオーボエで伴奏し、丸山先生ご指導のもと、元少女達はいつもとよりワンオクターブ高い美声を振り絞り一生懸命歌いました。

私たち幹事は皆の笑顔を楽しみに、1年前から準備を進めて参りました。会議の確認事項や情報を皆で共有し、仕事の効率化を図りました。次回も幹事の更なる高齢化に備え、デジタルツールを上手に活用し、運営の負担軽減と経費節約を目指したいと思ひます。

「次はいつ?」との声も届いております。今回は残念ながらご欠席された箕田先生からも「次回は必ず!」との嬉しいご連絡も頂きました。それらの声を励みに、これからも「KVA 56」という縁を大切に紡いでいきたいと思っております。

末筆となりますが、今回もあづま会の諸先輩方にお力添えを頂きました事、心より感謝申し上げます。またご出席頂いた先生方、同窓生の方々、そして運営費のご協力を頂きました皆様、誠にありがとうございます。それでは、またお会いできる日を楽しみに「ごきげんよう」。



「新しく生まれ変わったお茶室」



裏千家茶道

正教授 金井 宗智

お点前の稽古中に、「畳のササクレが足に当たって痛い！」と訴える生徒が増えて来た頃、丁度 高校の方から畳替えをして下さるという好機に恵まれました。話が具体的に持ち上がったのは、令和5年の晩秋で、はからずも家政学院100周年を迎えた年でした。

当時 茶道の顧問をして下さっていた時田先生とも打ち合わせを重ね、大学茶道部の先生にも説明し、部活が無い時期を選びました。しかし中高の課外授業はまだ終了していない12月から始まり、影響の無い場所から次々と古い畳が上がっていきました。又隠^{ゆらい}と広間三部屋の茶室に水屋、鞘の間（廊下）全て国産の最高の草で作られた畳に次々と変わっていきます。

また、広間の三部屋にある炉の寸法が違っている上にまだ昔の灰が入ったまま、長年使用が出来ない状態になっているのが勿体なくて、この際、寸法も改めて電気炉を設置して頂く許可も頂きました。

お願いした畳屋さんや大工さんは、それぞれ茶道を学んでいたりと、茶室を手掛けたりされているので、話はスムーズでした。それでも突然「今すぐ来てもらえませんか？」と携帯に電話があり、出先から駆け付けたり、自宅から出向いたりと度々足を運びました。

古い炉は石の塊でしたので、どうしたら良いのか・・・本当に大変だった様です。その石の塊の炉の寸法は、裏千家の炉の寸法より小さく、現在では通用しない寸法でした。

電気炉も受注販売でしたので、3箇所完全に設置出来たのは翌春過ぎた頃で、電気回路も増やして頂きました。そして、あちらこちらと破



床： 鵬雲斎大宗匠筆 無事 是好年（小書）
花： 黒椿と加茂本阿弥（お祝いで紅白の椿）
雲龍柳
花入：竹の一重切



2024 年 新しく生まれ変わったお茶室（普段稽古に使用している広間や鞘の間）



突き上げ窓に連子窓（手前の小さな窓）



又隠^{ゆらい}の炉は灰が入った昔のままで触らず畳替えと、障子や襖の張り替えのみ



炉の寸法を1尺4寸に改める
工事後に、電気炉を設置

けていた襖や障子も全て張り替えて下さいました。畳屋さんが 又隠の床の間の本畳の素晴らしさにも驚いていらっしやいました。今ではこんな事は出来ない。

裏千家今日庵の敷地内にある重要文化財の茶室 「又隠」の写しでこれだけレベルの高い茶室を持っている学校は、多分どこを探しても無いのでは？と思います。これは、裏千家15代お家元で現在101歳の鵬雲斎大宗匠のお姉様でいらした 塩月弥栄子先生がかつて、家政学院にご指導にいらしていたご縁で、数奇屋建築家はもちろんの事、材木類も全て京都から調達されたものと推測されます。

今ではとても入手が出来ない美しくて細く揃った竹に北山杉などの木材、それに本物の土壁、突き上げ窓に天井の網代の組み方や茅葺き屋根の細部に至るまで本物と変わらない程素晴らしい技術にもため息が出ます。又隠に座っていると、不思議と心が暖かく包まれる思いで、遠い利休時代にまで思いを馳せながら、空想の世界に浸り、時間を忘れてしまう程です。

茶室が新しく生まれ変わり、新たな息吹が吹き込まれた感じでした。

私も高校時代から茶道を学び、かつて塩月先生にもご指導を賜った経験もあり、このお茶室で亡き先生を偲びながら、こうして好きな茶道を女子教育の一環として指導させて頂ける事は最高の喜びでございます。

昨年の4月10日に、校内の先生方をお呼びして新しく生まれ変わったお茶室の披露茶会を行いました。点前や半東、お運びは教え子達の卒業生達が着物を着て手伝ってくれました。

又、今年の初釜は、初めて正式な炉で行う事が出来、感激でした。

こんな贅沢なお茶室で学べる生徒達、そして指導者の私達は、本当に心より感謝申し上げます。

以上 僭越ながら、新しく生まれ変わった茶室の経緯を書かせて頂きました。学校の宝であるこのお茶室が、末永く大切に維持されます事を心より祈念申し上げます。

令和7年3月



2024年4月10日
先生方をお呼びして、
新しく生まれ変わった
お茶室の披露茶会
卒業生達による接待



2025年1月 改修後電気炉で初めての初釜

床：鵬雲斎大宗匠筆 鶯 蓬春暖歌聲（小書）結び柳に御神鈴 / 花：曙椿 鶯神楽
花入：竹の一重切

翔け!! 家政人

『Design for Change 主催 世界大会』

中高教育研究係 川邊 健司

2024年11月21日～24日にドバイで開催されたBe the change Celebrations 世界大会に本校の中学3年生2名が日本代表として参加しました。この大会は、社会課題の解決に向けた若者の取り組みとその功績をお祝いする会です。今年度は世界約40カ国の中高生が参加し、自身で取り組んだプロジェクトについての報告を行いました。本校の生徒は中学1、2年生が協働で取り組む「ポスタビ」を起点にして、現在、自主的に活動を展開している難民支援のプロジェクト「projectkey」の取り組みについて発表、報告しました。

初日、2日目はドバイ市内の観光やウェルカムパーティーでは、世界中の仲間と交流を深め、異文化を肌で感じる貴重な機会となりました。後半の2日間は各国代表生徒のプロジェクト報告となります。発表では事前に作成した動画が上映され、その後、質疑応答の時間が設けられます（もちろんすべて英語です）。これまで「projectkey」の活動を進めながら、発表の資料作成、質疑応答の練習など夏休み前から準備をしてきました。発表では、この大舞台、しかも英語での対応にも関わらず、プロジェクトの成果や自身の気づきを堂々と報告し、会場からは大きな拍手が送られました。

この4日間の体験では、多くの驚きがありました。集合時刻にまったく間に合わない（間に合わせる気がない？）若者、時間があれば舞台上踊り出す若者、プロジェクトに対して「もっと質問してくれ」と要求する若者など、日本の学校ではなかなか目にすることがない光景を肌で感じつつもよりよい未来を創り上げるためにお互いをたたえ合う雰囲気は、現地で体験することでしか学び得ない「空気」であったと思います。

この学びや気づきは学校でのSDGsプロジェクト、さらには日本で開催される今年の世界大会に繋がっていきます。より多くの生徒たちがこの「空気」に触れ、私たちのプロジェクトを世界に発信していくこと、今から楽しみでなりません。

参加に際しては、教職員、卒業生、保護者の皆様、本校の教育活動に協働頂いている外部機関の皆さんから多くのご支援や励ましのお言葉を頂きました。この場を借りて感謝申し上げます。



『俳句甲子園に出場して』

高校文芸部顧問 児島 豊

ごきげんよう。高校文芸部は八年ぶりにメンバーが揃い俳句甲子園に出場しました。俳句甲子園とは、五人一チームで対戦し、作品の出来映えとディベートで競う大会です。東京予選では前年度の全国大会優勝校とも対戦しましたが、チームとして全国への切符を獲得しただけでなく個人でも高二の武富愛音さんの「鬼薙投げて他郷の空を穿つ」が最優秀句に選出されました。

松山市での全国大会では予選リーグで敗退したものの、ベスト四をかけた敗者復活戦への出場権を得ました。しかし惜しくも敗退、悔しい思いでステージ上の試合を見つめていました。試合後の表彰では団体奨励賞のほか、個人賞として高二の金子知紗さんの「へけさらんばさらん栄えてコンビニは眠る」、寺島未桜さんの「戦車の中にハンカチが落ちてゐる」が入選、最優秀賞に高一の岡智咲恵さんの「戦死者のハンカチ青しそれを振る」が選ばれました。あづま会の皆様、応援ありがとうございました。

①俳句甲子園の実施時期

地方予選2024年6月、全国大会8月

②大会でのお題（兼題）

地方予選…長閑、蝌蚪、薊

全国大会…ハンカチ、翡翠、メロン、暑し、休暇明け、稲妻、

馬肥ゆ、鶏頭、栄



『バドミントン部インターハイ出場』

バドミントン部顧問 中雅弘

私たちバドミントン部は全国高等学校総合体育大会東京都予選で個人戦 第2位となり2024年8月に佐賀県で開催されたインターハイ個人戦に2年連続出場することができました。昨年度のインターハイでは緊張のあまり、本来の実力を発揮することができず、1回戦で敗退してしまいました。その経験を活かして今年度は2回戦まで進むことができました。

また、全国高等学校選抜大会東京都予選大会では、個人戦でダブルスでは優勝、シングルスでは優勝・準優勝となり、関東高等学校選抜大会へ出場することができました。団体戦では優勝することができ、2025年3月に石川県で開催される全国高等学校選抜大会に出場することができました。全国大会への団体戦での出場は、初めてのことにあります。東京家政学院・東京都の代表として恥ずかしくないプレーをしてきたいと思っています。4月から新入部員を迎えインターハイでも団体戦出場を目指し頑張っていきたいと思います。これからも応援のほどよろしくお願いいたします。



新人戦1部 兼 全国高等学校選抜都市選大会

『政策甲子園に出場して』

ごきげんよう。

本校では高校3年生「政治経済」の授業で、2024年度より政策甲子園への取り組みを新たに始めることになりました。政策甲子園とは、3名から5名のグループで高校生自らがこの国が抱える課題について調査し、政策を立案、そしてオーディエンスの前で演説するというものです。今回は次の2部門となりました。

【設定テーマ部門】…笑顔あふれる未来の子育て政策！

【自由政策部門】…私が総理大臣になった時の一丁目一番地

第2回全国高校生政策甲子園へは全国から253チーム、700名を超える高校生が参加しました。本校は両部門で1チームずつ計2チームが書類審査を通過し、その後、東日本大会を2チームとも勝ち抜いて、全国大会に出場することができました。全国大会へは両部門それぞれ5チームずつ計10チームのみという狭き門でしたが、見事に突破することができました。加えて、全国大会では、

【設定テーマ部門】 文部科学大臣賞（全国第3位）

【自由政策部門】 優秀賞（全国第2位）

受賞という快挙も達成しました。生徒は政策甲子園を通じて、プレゼンスキルや資料作成スキルをさらに高めることができたと思います。最後になりますが、政策甲子園のインターネット投票に際して、あづま会の皆様には多大なるご協力をいただき誠にありがとうございました。



【自由政策部門】

（チーム名）わかもかピッコリーノ：優秀賞



【設定テーマ部門】

（チーム名）ベイベーラボ：文部科学大臣賞受賞

社会科担当 山形純一郎

『令和6年 第60回 常磐祭』

学校生活において、仲間と一緒に行う活動のひとつである常磐祭 今年で 60 回を迎えます。
新たな試みがありともに工夫された 体育祭・文化祭が開催されました。

第1部 体育祭 会場：東京武道館

2024年9月11日

9月に入っても厳しい暑さが続いていた中、体育祭が開催されました。

本年度の体育祭のテーマは『We are one!』 私たちはひとつ、心をひとつにして仲間と力を合わせて盛り上げよう!』でした。

初めての試みとして新しく結成された応援団の躍動感あふれるエールのパフォーマンスから始まりました。

猛暑の中でたくさんの練習をした生徒さんの元氣いっぱいの競技に勇気をもらい、また一生懸命に純真な姿で舞う中学二年生、中学三年生「みのり」の演技には心があたたくくなりました。

そして高校三年生の最後の演技は「荒城の月」、ほとんどがコロナ禍の学校生活であり、

ひとりでは乗り

越えられなかつ

た様々な時にお

世話になった先

生方、保護者の

方へ感謝の気持

ちを心を込めて

舞う姿は感動の
涙が自然とこぼ
れ落ちました。

たくさんさんの元

氣をもらい夢や

希望を描く事が
できる素晴らし
い体育祭でした。



高校3年生「荒城の月」

第2部 文化祭

2024年10月5、6日

秋のすがすがしい空に映える、ピンクを基調としたウェルカムゲートで、皆さまをお迎えしました。

今年のテーマは、秋桜と書いてコスモス。

花ことばは「乙女の真心」。乙女達一同、真心を込めて準備して開催された文化祭。学校生活で学ばれた活動をもとに工夫され、表現された校内に生徒（乙女）達の楽しそうな笑顔溢れる2日間でした。

今年のあづま会は、設立80年です。皆さまに伝えたく「今昔」をテーマに、校舎の移りかわりの写真パネルにし展示しました。来られた卒業生それぞれが通った校舎を見られ、なつかしく思われたのではないのでしょうか。他に、あづま会歴代役員や「あづまだより」のあゆみもパネルにしました。

講習会は「幸せをよぶフクロウ」と「あなただけのアロマオイル」。

カラフルな色合いの「フクロウ」は学校見学にいられた小学生と来場者そして在校生が作成し、賑わいました。

「アロマオイル」では、いくつかの種類から好きな香りを選び調合し、自分だけの世界にひとつだけのオイルを持ち帰られました。甘い香りやさわやかな香りが漂った、あづま会の部屋となりました。

それぞれに思いを込めて役員は作成のお手伝いをしました。材料が早い時間でなくなり、好評の中終わらせることができました。

今年もコロナウイルスの影響であづま会の部屋で皆さまにお茶をお出しできませんでした。次回こそは、お茶をお出しして楽しく会話ができることを、あづま会一同心から願っております。



文化祭展示



講習会 フクロウとアロマオイル



ウェルカムゲート

2024年あづま会総会・懇親会のご報告

2024年5月26日、ローズホールにおいて総会・懇親会を開催いたしました。当日は日曜日でしたが、ご参加くださった皆さまには久しぶりの学校を懐かしく感じていただけたのではないのでしょうか。

ジョイント同期会の幹事の皆さまのお力添えのもと、当日70名以上の卒業生にご参加いただきました。幹事の皆さまはお忙しい中、ご協力いただき感謝申し上げます。今回の懇親会参加の連絡を通して、ご参加いただけなかった方々とも懐かしい交流が増えていくことを願っております。

懇親会においては、ご出席いただいた学校法人東京家政学院吉武博通理事長と、中学・高等学校教頭の安達京子先生より学院の近況についてお話がありました。併設大学は大きく変化していくようですが、中高の生徒は探求活動や部活動に取り組み、日々成長しているようです。同封の学院日より中高ホームページも是非ご覧ください。

元教頭小泉起代先生の乾杯によりなごやかな会となりました。今回は、昭和20年高等学校卒業の大先輩から令和6年卒業の方まで、幅広くご参加いただきました。今年も多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



『あづま会奨学金授与』

厚生委員会委員長、バトン部部长、バレーボール部所属と多方面での活動が評価され、高3C組牧野瑞姫さんに2024年7月18日、奨学金授与となりました。

小学生の頃は、のんびり屋さんで穏やかな性格（お母様評）でした。中学1年生の時にバトントワリングに出会いクラブチームに所属、U18クラスで全国大会に出場。その時に友達から「見たよ！凄かったね!!」と声をかけられて喜んでもらえた事がとても嬉しかったそうです。部活もバトン部に入り、中学1年の時は部員が3人でしたが、今は中高合わせて16人になり、高校1年の時に大会に出場出来るようになりました。部員が少なくても粘り強く続けてきたことが、今に繋がっています。コロナ禍で全員揃って活動が出来ない時も、一人で振り付けを考えて練習を続けてきました。先生方も一人一人が輝き、活動の成果を発表出来る場を提供してくださいました。自身の行動によって、周りの人たちが笑顔になることに喜びを感じると目を輝かせて話してくださいました。

委員会に二つの部活動、学習と時間に追われがちですが、時間の使い方を考え、移動の時間も無駄にせず、お母様との連携で乗り越えてきました。インタビュの時にいつも感じるので、ご家族のご理解と応援がご本人にとって大きな力になっています。

今は古典（特に登場人物）に興味があり、今昔物語の『馬盗人』を例に、物語の以心伝心というメッセージを捉え、頭の中で映像として想像できるそうです。

パリオリンピックを間近に控え、バレーボール日本代表の話題でお母様も一緒に話が弾み、賑やかな授与となりました。



(2025 年 2 月末現在)

大学

東京家政学院大学	現代生活	現代家政	9
東京家政学院大学	人間栄養	人間栄養	7
東京家政学院大学	生活共創	こども教育	2
跡見学園女子大学	観光コミュニティ	観光デザイン	1
SBC 東京医療大学	健康科	看護	1
大妻女子大学	家政	児童	1
大妻女子大学	家政	被服	2
大妻女子大学	社会情報	環境情報	1
大妻女子大学	データサイエンス	データサイエンス1	1
大妻女子大学	人間関係	人間福祉	1
大妻女子大学	比較文化	比較文化	1
学習院女子	国際文化交流	英語コミュニケーション	1
学習院女子	国際文化交流	日本文化	1
共立女子大学	建築・デザイン	デザイン	1
共立女子大学	国際	国際	1
共立女子大学	文芸	メディア領域	1
駒澤大学	文	国文	1
実践女子大学	環境デザイン	環境デザイン	1
実践女子大学	国際	国際	1
実践女子大学	生活科	生活文化	1
実践女子大学	人間社会	人間社会	1
十文字学園女子大学	人間生活	食品開発	2
順天堂大学	医療看護		1
昭和女子大学	食健康科	管理栄養	1
女子栄養大学	栄養	実践栄養	2
女子栄養大学	栄養	食文化栄養	1
女子栄養大学	栄養	保健栄養	1
白百合女子大学	人間総合	児童文化	1
白百合女子大学	文	国語国文	1
聖学院大学	心理福祉	心理福祉	1
成蹊大学	経営	総合経営	1
成蹊大学	文	現代社会	1
成蹊大学	理工	理工	1
清泉女子大学	地球市民	地域共生領域	1
聖徳大学	教育	教育	1
聖徳大学	教育	児童	1
聖徳大学	人間栄養	人間栄養	1
大正大学	表現	メディア表現	1
大東文化大学	経済	社会経済	1
玉川大学	工	ソフトウェアサイエンス	1
中央学院大学	法	法	1
帝京科学大学	教養人間科	学校教育	1
帝京科学大学	教育人間科	幼児保育	2
東京医療保健大学	東が丘看護	看護	1
東京成徳大学	応用心理	臨床心理	1
東京成徳大学	子ども	子ども	1
東洋英和女学院大学	国際社会	国際コミュニケーション	1
東洋英和女学院大学	人間科	保育子ども	2
獨協大学	経済	経営	1
日本工業大学	建築	建築	1
日本女子大学	理	数物情報科	1
日本大学	芸術	文芸	1
白梅学園大学	子ども	子ども心理	1
広島国際大学	総合リハビリテーション	義肢装具	1
文京学院大学	経営	経営コミュニケーション	1
文京学院大学	保健医療技術	看護	1
文教大学	健康栄養	管理栄養	1
法政大学	法	法律	1
武蔵野音楽大学	演奏学科声楽	演奏学科声楽	1
武蔵野大学	経営	経営	1
目白大学	看護	看護	1
目白大学	人間	児童教育	1
和洋女子大学	看護	看護	1

短大

聖徳大学短期大学部	保育	保育	1
専門学校			
慈恵看護専門学校	看護学部	看護学部	1
東京医学技術専門学校	歯科衛生士科	1部 歯科衛生士科	1部 1
ベルエポック美容専門学校	ヘアメイク科	ヘアメイク科	1

振込方法

同封の払込取扱票に口数（1口¥3,000）金額、会員番号（住所ラベル右下に記載）住所、氏名、電話番号をご記入の上お振込みをお願い申し上げます。

2024年度活動協力費にご支援いただいた方々（敬称略）
115件 合計¥450,370（2025年2月末現在）
あたたかいご支援を誠にありがとうございました。



2023年には、東京家政学院創立100周年、そして昨年は中学校・高等学校創立85周年と二つの記念事業を窮することなく無事に祝うことができましたのも、ひとえに会員の皆様のご理解とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

少子化の中、先生方のご指導とご尽力、また昨今の在校生皆さんの多方面での活躍により生徒数は回復の兆しがみえ、それに伴い卒業生数は数年前の60名弱から増えつつあります。卒業時納入の終身会費で運営しているあづま会にとって、卒業生の増加は直接活発な活動に繋がります。

今、校内外の壁には「高校バドミントン部全国大会出場」「高校文芸部 第27回俳句甲子園 最優秀賞・入選・団体奨励賞」「第2回全国高校生政策甲子園 文部科学大臣賞・優秀賞」「高校ソングリーダー部 全国大会出場」「中学・高等学校 第13回ESD（持続発展教育）大賞 文部科学大臣賞」の5本の垂れ幕が誇らしげに揺れています。在校生の活躍を同窓会として出来る限り応援をしたいと思います。母校の益々の発展を願いまして、今後もおお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

S 20 年卒	白石 悠子	浅尾 美枝	S 41 年卒	大山 正子	S 49 年卒	上野 優子	S 60 年卒
S 28 年卒	道野 康子	原澤 久子	S 46 年卒	坂 文美子	高橋 順子	鈴木 早百合	横浜 八重乃
S 31 年卒	森 文子	井上 定江	小野田 恵子	青柳 文枝	福田 カヨ子	S 55 年卒	H 1 年卒
S 33 年卒	澤田 三和子	佐野 紀子	萩野 淑子	印牧 久美子	品田 恵美子	山崎 睦子	H 6 年卒
S 34 年卒	斉藤 節子	内藤 知津子	S 47 年卒	鈴木 はつ子	真田 令子	清水 佐知子	黒光 恵
S 35 年卒	中江 和子	山村 正子	S 48 年卒	岡庭 尚美	S 50 年卒	S 56 年卒	十河 由香
S 36 年卒	小寺 伊縁	竹田 悦子	倉田 順子	鳥居 純子	榎本 純子	稲宮 美香	眞通 恵美
S 37 年卒	丸山 喜美子	中川 美津子	S 49 年卒	反保 一美	鳥居 礼子	松原 勝美	吉川 亜紀子
S 38 年卒	高田 享子	内田 悦子	S 51 年卒	鈴木 茂子	船戸 かおる	三輪 正恵	深井 朋子
S 39 年卒	石川 明子	佐生 澄子	S 52 年卒	久保田美和子	府中 ひとみ	篠田 真由美	秋元 良美
S 40 年卒	羽山 広子	長沼 紀子	S 53 年卒	清水 由美	S 57 年卒	高野 弥生	H 9 年卒
S 41 年卒	中西 百合子	H クラス会	S 54 年卒	亀井 記子	S 58 年卒	久木田 佳	平木 友紀
S 42 年卒	天野 宮子	羽崎 晴美	S 55 年卒	矢島 はるみ	S 59 年卒	友廣 幸子	H 11 年卒
S 43 年卒	松本 英子	島田 由美子	S 56 年卒	天野 万寿子	S 60 年卒	丸川 久美	H 16 年卒
S 44 年卒	S 38 年卒	吉本 千賀子	S 57 年卒	本間 久美子	S 61 年卒	永井 文乃	田口 真規子
S 45 年卒	関原 暁子	渡辺 克子	S 58 年卒	森 洋子	S 62 年卒	土屋 可奈子	三好 美沙
S 46 年卒	山中 のり子	増井 和子	S 59 年卒	石川 直子	S 63 年卒	小蘭江 郁子	R 2 年卒
S 47 年卒	岡本 和美	五島 恵子	S 60 年卒	石川 光子	S 64 年卒	小山 明日子	眞通 瑠々
S 48 年卒	三木 エミ子	田中 壽美子	S 61 年卒	亀井 久美子	S 65 年卒		R 6 年卒
S 49 年卒			S 62 年卒		S 66 年卒		渡部 結衣



2025年度 あづま会会員証

有効期限 2026年3月

会員番号: _____

会員氏名: _____

キ
リ
ト
リ

左記の会員証は切り取ってご本人のみご使用ください。

この会員証は、この用紙で紹介されている加盟店で提示すると、特典があります。

お電話でお問い合わせする場合は必ずあづま会会員であるとお伝えください。

なお、有効期間は 2026 年 3 月までです。

東京家政学院高等学校同窓会あづま会 ☎03-3288-2623

加盟店システムをご利用ください。(光塩会・あづま会会員証提示)

加盟店のオリジナルサービスが受けられます。東京家政学院同窓会（光塩会・あづま会）が作ったシステムです。九段商店街振興組合「ステージナイン」も企画に賛同しご協力いただいております。小さなお買い物でもご活用いただきたいと思います。

加盟店ご案内

■ユニオン・ミュージック・プロモーション■ 新井ゆみ(大家6)

「JAZZ LIVE HOUSE コットンカフェ／ジャズミュージックスクール」

〒355-0001 埼玉県東松山市岡 39-2 ☎ 0493-39-5566 FAX 0493-39-5569 unionmusic@ybb.ne.jp

特典：音楽スクール入学金半額免除・ライブハウス入場ワンドリンク無料

■ワミレスサロン善行 Mahalo フェイシャルエステ ブライダルエステ ワミレス化粧品■ 水戸聡子(短英6)

〒251-0871 神奈川県藤沢市善行 7-7-8 第2 藤ビル 203 ☎0466-81-9854

特典：フェイシャルエステトリプルトライアル¥2,160 でご提供、ブライダルエステご相談ください。

■すき亭 吉寅■ 吉崎美栄(S33 年卒／短9)

〒350-0062 埼玉県川越市元町 1-9-3 ☎ 049-222-0102 営業時間 11～21 時(ラストオーダー 20 時半) 定休日 月曜

特典：ウーロン茶1杯サービス

■(株)山英一緑茶製造・販売■

故桑野先生(短大助教授)との共同研究によって生まれた食用のための茶葉で作った「食べるお茶」などの販売

〒436-0003 静岡県掛川市日坂 121 ☎ 0537-27-1024 FAX 0537-27-0566 <http://www.yamaei.net>

特典：商品価格を5%引き お問合せ ☎0120-27-1024

■HAYAMA SUNDAY シンプルで上質な生活雑貨■ 杉本伸子(S55 年卒)

〒240-0116 神奈川県三浦郡葉山町下山口 1820-18

☎ / FAX 046-897-6368 <http://hayamasunday.com/index.html>

特典：利用してのお楽しみ

■蓼科高原 バラクラ イングリッシュガーデン■ ケイ山田(S37 年卒／短13)

本 店：〒391-0301 長野県茅野市北山栗平 5047

特典：入園料 30%引き

東京店：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-28-1 佳秀ビルB1(JR 千駄ヶ谷駅徒歩 3 分、代々木病院裏)

■ミエザ ホール■ 大久保恵美子(大家1)

〒183-0021 東京都府中市片町 2-21-1 ☎ 042-366-6316

特典：2,000 円未満の備品が無料

■鎌倉山「樞亭」■ 岩村もと子(大現1)

〒248-0031 鎌倉市鎌倉山 3-1-1 ☎0467-32-5656

特典：「季節特典弁当」・会席「柊」⇒7%、会席「山椒」以上の会席料理⇒10%割引(*お蕎麦や甘味、一品料理は割引適用無し)

三番町キャンパス周辺 加盟店マップ

キリトリ

有効期限 2026 年 3 月



①アルカディア市ヶ谷



⑥宝来屋本店



②さかぐち



⑦盛美カメラ



③花省



⑧九段プレジール



④プリンテックス



⑨増辰海苔店



⑤ききょうや電気

●特典のご案内

- ① アルカディア市ヶ谷：宿泊・会議・宴会場利用割引有り 窓口：水野
- ② さかぐち：会員証提示の上 5%割引
- ③ 花省：消費税分 10%サービス
- ④ プリンテックス：印刷に関するアドバイス
- ⑤ ききょうや電気：電気に関するアドバイス 安心・安全を！
- ⑥ 宝来屋：スタンプカードに 1 ポイントプレゼント
- ⑦ 盛美カメラ：証明写真撮影等優待
- ⑧ 九段プレジール：ディナー時ワンドリンクサービス
- ⑨ 増辰海苔店：ご利用しての楽しみ

●加盟店からのお願い

会員証を提示してください。ただし、特典は店舗によって異なります。



各種連絡はこのページを切り取り FAX 又は郵送してください。
もしくはEメールでお願い致します。

宛 先 FAX 03-3288-2623
Eメール adumakai@kasei-gakuin.ac.jp

〒102-8341 東京都千代田区三番町 22 番地
東京家政学院高等学校 あづま会

あづま会 住所変更・改姓・物故者連絡用紙
卒業生近況報告

会員番号

(住所ラベルの右下にあります。必ず記入してください)

変更前住所・氏名

旧住所 〒

氏 名 (旧姓)

旧電話番号

変更後住所・氏名

新住所 〒

新氏名

新電話番号

連絡先

(携帯電話・メールアドレス)

※連絡先は、内容確認のため事務局から連絡させていただく場合がありますのでご記入ください。

※ご記入いただいた個人情報は、個人情報保護法に基づき、適正な取り扱いを行います。

通 信 欄

※近況報告 (ボランティアや現在取り組んでおられること、お仕事・生活の様子など) をお知らせください。



こちらから住所変更が
できます

入学金優遇制度

この制度は、受験合格した入学生が、あづま会会員の三親等以内であれば入学金の半額を優遇するという制度です。お申し出用の書類がありますので詳しくは下記までお問合せください。

お問合せ先 中学高校支援室 (03-3262-2256)

2025 年度 常磐祭

体育祭：9 月 10 日（水）東京武道館（綾瀬）
文化祭：10 月 4 日（土）5 日（日）高校校舎
卒業生は入場出来ます。若い力を肌で感じてみませんか！
文化祭では、あづま会の部屋へぜひお立ち寄りください。

あづま会からのお知らせ

同窓会グッズ（校章入りタオルハンカチ 白・ピンク¥1,000
あぶリーヌコンパクトミラー¥350）を販売しています。
ご希望の方は、住所、氏名、会員番号、電話番号、品、数を明記の上、
メール・FAX・ハガキにてお申込みください。
事務室には常駐者がおりません。対応に時間がかかりますが追ってご連絡いたします。

2026 年のジョイント同期会について

2026 年は、S51 年・S61 年・H8 年に卒業した学年となります。卒業時に決めた各クラスの幹事（あづま会委員）又は以前に幹事をお引き受け頂いた方は、下記の通りです。
今まではあづま会より個人的にお声掛けして参りましたが、個人情報保護法や特殊詐欺防止対策、また携帯電話普及により連絡方法の多様化で固定電話による連絡が大変困難な状況になっております。今回からは、各クラスの幹事の方へ 12 月頃お手紙にてお知らせいたしますので、ご協力を宜しくお願い申し上げます。又は、お引き受けくださる方はあづま会までご連絡ください。

2026 年ジョイント同期会の幹事（卒業時）

敬称略（ ）内は旧姓

高校卒業年	クラス	幹事氏名
昭和51年	B組	北村光代
	C組	加藤真方子(佐々木)
	D組	鈴木昭子、生田敏子(岡田)
	E組	友田真由子(渡辺)
	G組	本間則子
昭和61年	A組	須藤あおい
	B組	石橋香代
	C組	佐藤栄子(中島)、原珠恵
	D組	足立弓子(石井)
	E組	星谷美保(福沢)
	F組	磯谷千寿子(足立)、杉本浩子(平野)
	G組	青柳由美子(竹内)
平成 8 年	登録なし	

編集後記	第 46 号あづまだよりは、KVA 会館にある素晴らしいお茶室を皆さまに知っていただきたいと思い掲載いたしました。またいつも多方面での大活躍の在校生のうれしいお知らせがたくさんありました。ぜひお読みください。
------	--

《総務事業》

2024 年度 会務報告

月	内 容
2024 年 4 月	あづまだより第 45 号発行
2024 年 5 月	2024 年あづま会総会・懇親会開催
2024 年 7 月	あづま会奨学金授与
2024 年 10 月	第 60 回常磐祭参加
2024 年 11 月	中・高創立 85 周年記念式典参列 記念品贈呈
2025 年 1 月	二十歳を祝う会後援
2025 年 2 月	卒業記念品贈呈

2025 年度 会務案

月	内 容
2025 年 4 月	あづまだより第 46 号発行
2025 年 5 月	2025 年あづま会総会・懇親会開催
2025 年 7 月	あづま会奨学金授与
2025 年 10 月	第 61 回常磐祭参加
2026 年 2 月	卒業記念品贈呈

毎月 1 回 定例会開催（第 2 土曜日）
会員名簿の管理 ホームページ運用
校章入りタオルハンカチ・あぶリーヌコンパクトミラー販売



《会計事業》

『2024 年度決算書』 自 2024 年 4 月 1 日 至 2025 年 3 月 31 日
『2025 年度予算案』 自 2025 年 4 月 1 日 至 2026 年 3 月 31 日

収 入 の 部		
項 目	2024 年度決算額	2025 年度予算額
前年度繰越金	25,395,760	25,988,841
卒業生入会金	1,600,000	1,775,000
総会懇親会費	276,000	200,000
常磐祭バザー収益金	69,731	50,000
活動協力金	450,370	500,000
奨学金募金	35,400	50,000
預貯金利息	2,368	5,000
雑収入	10,000	20,000
合 計	27,839,629	28,588,841

支 出 の 部		
総会懇親会費	264,706	300,000
常磐祭経費	44,858	100,000
総務費	598,849	1,012,000
広報費	721,525	1,000,000
奨学金	50,000	50,000
雑費	32,250	100,000
周年行事費	138,600	0
次年度繰越金	25,988,841	26,026,841
合 計	27,839,629	28,588,841

2025 年 3 月 31 日 あづま会会長 澤田 三和子 ㊞
上記の通り報告致します。
会 計 斎藤 節子 ㊞ 田宮 知子 ㊞ 森 洋子 ㊞
監査の結果、相違ないことを確認致しました。
会計監査 伏見 淑子 ㊞ 黒光 恵 ㊞

役員紹介

会 長	澤田 三和子 (S41 年卒)	
副 会 長	堀部 みどり (S43 年卒)	田宮 知子 (S48 年卒)
会 計	斎藤 節子 (S41 年卒)	森 洋子 (S53 年卒)
総 務	六鹿 清美 (S55 年卒)	府中 ひとみ (S56 年卒)
広 報	十河 由香 (H06 年卒)	竹山 芳枝 (S48 年卒)
	石川 直子 (S53 年卒)	眞通 恵美 (H06 年卒)
	田宮 知子 (S48 年卒)	堀部 みどり (S43 年卒)
会計監査	伏見 淑子 (S48 年卒)	黒光 恵 (H06 年卒)